

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~6日	8月 ~13日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	15	3
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	14	11
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	1	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	0	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第32週(8月7日~8月13日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			1		2	1	2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1					1		
		日本紅斑熱	2			2				
五類	6	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	4			1		3		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島市, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり8.88人の報告があり、依然として多い状況が続いています。
 夏場は、エアコンの使用に伴い窓を閉め切ることが増えます。感染予防のため、こまめな換気を心がけるとともに、帰宅時の手洗いや医療機関受診時等の効果的な場面でのマスク着用など、基本的な対策を徹底しましょう。

2 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。

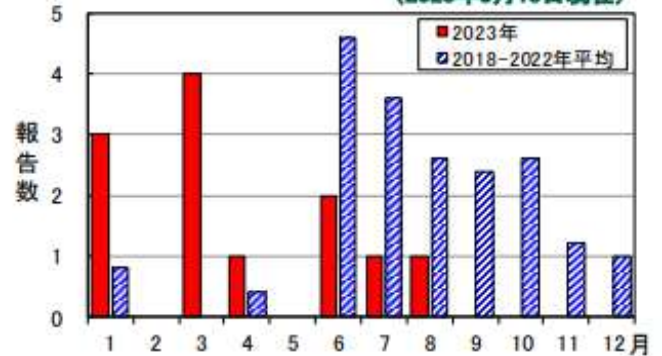
3 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は12件となりました。
 例年、初夏から秋にかけて感染者が多くなる傾向があります。肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症Q&A(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>



腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)
 (2023年8月13日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
インフル	インフルエンザ	21	0.62	0.16		小児科	ヘルパンギーナ	21	0.91	0.72		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	302	8.88				流行性耳下腺炎	1	0.04	0.07		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	8	0.35	2.03		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	6	0.26	0.29			流行性角結膜炎	4	0.50	0.46		横ばい	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.43	0.78		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	感染性胃腸炎	52	2.26	2.49			無菌性髄膜炎	-	-	0.03		インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む) 34	
	水痘	2	0.09	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06		小児科定点数 23	
	手足口病	29	1.26	1.66			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数 8	
	伝染性紅斑	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数 7	
	伝染性紅斑	-	-	0.06								(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)	
突発性発しん	4	0.17	0.44										

今週(第32週)は、お盆の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第31週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	83	40歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	12	20歳代・O157・市外
4	重症熱性血小板減少症候群	1	2	80歳代
5	梅毒	3	183	50歳代・3人